

—あおぞら—

AJAE 論文の積極的な引用をお願いいたします！

AJAE 編集委員長
慶應義塾大学理工学部
奥田 知明

2016年9月に、Asian Journal of Atmospheric Environment (AJAE) の編集委員長を拝命いたしました。AJAEは日本と韓国の大気環境学会が合同で発刊している国際学術誌で、2007年に創刊されました。創刊後のAJAEの歩みは、前編集委員長の松田和秀先生が執筆された「あおぞら」2011年1号をご参照ください。この度、初代編集委員長の早川和一先生から松田先生へと引き継がれてきたバトンを受け取り、さらにAJAEの発展のために努めて参る所存です。今回はこの場をお借りし、AJAEの現状と取り組みについてご紹介させていただきます。

AJAEは本年で創刊10周年を迎えました。掲載論文数は創刊以来207報であり、そのうち日本人著者が含まれるものは62報です。これまでScopus等の論文データベースには採録されているものの、クラリベイトアナリティクス(旧トムソンロイター)の提供するJournal Citation ReportsによるImpact Factor (IF) は未だに付与されておりません。賛否はいろいろとあろうかと思いますが、現実問題としてIFが付与されているかいないかが、結果的にその雑誌に投稿される論文の質および量に繋がっていることは間違いのないところかと思えます。そこで、AJAEのIF取得に向けた取り組みといたしまして、大気環境学会員の皆さまには、以下の点につきましてご協力をいただけますと幸いです。

1. AJAEに掲載された論文の積極的な引用

IF取得申請時の重要な評価項目に、直近年の被引用回数があります。具体的には、2015年と2016年に掲載され、2017年に引用された論文数、が極めて重要です。また意外と知られていない事実として、引用する側の媒体は必ずしも論文である必要はなく、学会要旨や報告書、解説記事などでもカウントされます。従いまして、皆さまには、今後ご自身の論文はもちろん、学会要旨・報告書・解説記事等におきまして、AJAE論文の積極的な引用をぜひお願いいたします。

2. AJAEへの積極的な投稿

現状のシステムでは、日本人著者(グループ)による投稿は、全て日本側の編集委員会で取り扱われます。2013年よりオンライン投稿査読システムとしてScholarOne™プラットフォームを採用し、投稿時および査読時の即時性および利便性の向上を図っております。査読におきましては、議論の根拠となるデータの妥当性の担保を重要視し、可能な限り投稿後1ヶ月以内に査読意見をお返しできるよう努めております。また2015年より、大気環境学会論文賞にAJAE部門が創設されて以来、毎年受賞論文が出ております。皆さまにおかれましては、研究成果の一端をぜひAJAEにご投稿くださいますようお願いいたします。

3. AJAEに投稿された論文の査読

日本人著者による投稿論文の場合は、査読者も日本国内の研究者の方々をお願いすることが多くなっております。AJAEは英文誌ですが、日本人著者・日本人査読者の場合、査読結果の記述は日本語で構いません(もちろん英語でも可)。なお、編集委員は全員ボランティアでご尽力いただいております。AJAE論文の査読の依頼が届きました際には、可能な限りお引き受けくださいますよう、心よりお願い申し上げます。

現在のところAJAEへの投稿や掲載は無料であり、また掲載論文は3ヶ月毎にAJAE Webサイトに掲載され、pdfファイルでダウンロードできます。また大気環境学会誌には、毎号のAJAE目次と、日本人著者(グループ)の場合には論文タイトルと要旨の和文情報も掲載しています。今後は日韓に加え中国等アジア各国のEditorial Boardを拡充し、アジア地域の大気環境研究に貢献する主要な国際学術誌としてさらにAJAEを発展させていきたいと考えております。皆さまのご協力をぜひとも宜しくお願いいたします。

AJAE website: <http://asianjae.org/>